

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 2月 26日

ご利用者様12名中12名回答

事業所名: NPO法人こぐまくらぶ えくぼ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	広々と使える様に収納に工夫しています。リハビリ時はリハビリを行う児童、散歩に行く児童などに分けるなど訓練時の十分なスペースを確保しています。	はい10名 どちらともいえない2名 いいえ0名 わからない0名	今後も室内を広くと使えるよう、整理整頓を心掛け訓練に必要なもの以外は排除し、目的に沿ったスペース確保に努めます。
	2 職員の適切な配置	重心型施設の為、看護職員はサービス提供時間は常時配置しており、他に児童指導員又は、保育士、機能訓練担当職員、児童発達支援管理責任者・嘱託医を1名以上配置しています。	はい10名 どちらともいえない0名 いいえ0名 わからない2名	引き続き、適切な配置を行い、利用されているお子様の状態に合わせてフォロー体制を作り支援していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚で分かるように活動の内容を掲示しています。入口、トイレは広く、バリアフリーになっています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後もお子様が安全に、視覚的にも分かりやすく過ごしやすい環境を提供できるように努めます。絵カード等、視覚で分かる掲示物を増やしていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃箇所等を定めたチェックシートに基づきアルコール及び次亜塩素酸ナトリウム水で玩具、床の消毒、清掃を行い、清潔に保てるよう配慮しています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	継続して清潔な空間を作っていくと共に、新型コロナウイルス感染症予防としても意識をしながら対策を行っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月のケース会議や必要に応じてのミーティングなどを行い、日々の業務や振り返りを行い、共通意識で利用者様の支援を行えるようにしています。	/	継続して振り返りを行い、職員一人一人が課題に対して意見の発信ができるように工夫していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は利用者・事業所内の2者評価であり、第三者による外部評価は実施しておりません。	/	必要に応じて評価委員による外部評価の実施を検討し、業務改善に努めます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	保育研修、管理者研修、虐待防止研修、コミュニケーション研修、外部講師による研修、障がい福祉勉強会など多岐にわたる内部研修を実施しています。また必要に応じて外部研修へも参加し、資格取得支援制度等で知識、技術の習得を後押ししています。	/	これからも研修等への参加を行い、職員の資質向上に努めます。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	毎月モニタリング、初回と半年後に家庭訪問を実施しており、お子様と保護者様のニーズや課題の客観的分析を行い作成しています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後も適切なアセスメントを行って、お子様・保護者様のニーズに沿った計画書を作成します。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	お子様の状況と個々の発達段階に応じて、個別に支援するポイントと集団で支援するポイントを検討し、その内容を反映した計画を作成しています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後も個別活動と集団活動を組み合わせた計画を考案していきます。また、個別活動としてのリハビリ以外の活動を充実させていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子ども一人一人に応じた具体的な計画を作成し、細かくわかりやすい支援内容を記載するよう心掛けています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後も具体的な計画を作成していきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	目標を室内に掲示し、職員の意識の周知を行っています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後も職員で周知し、目標の共有を行っていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	利用者様の個々の新しくできたことや課題を職員で共有、話し合いした上で、活動プログラムの立案は管理者が主になって行っています。		会議を通してチーム全体で活動プログラムを作成まで実施するように努めます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇は10:00から16:00の支援を提供しており、平日と長期休暇と支援時間の長さに応じて活動内容を適宜変更しております。欠席された場合は、体調の把握や保護者様の不安や負担を聞き取り、寄り添った支援を心がけています。	はい10名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない1名	引き続き家庭との連携を大切にし、電話や連絡帳にて情報共有を図り、ニーズに合った支援を心がけていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	児童発達支援は表現遊び、運動遊び、言葉遊びなどプログラムが固定化されないよう配慮しています。		放課後等デイサービスでのプログラムが固定化されないよう個々に合わせたプログラム提供に努めます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	前日に当日の流れをLINEを活用して共有しています。役割分担や前日の特記事項を職員間で情報共有の確認を行っています。		今後も継続して、支援開始前の情報共有を図り、支援内容も情報共有していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日報で支援の振り返りを行っています。気づいたことを記録に残すことで、全職員が情報共有できるようにしています。		引き続き日報で支援の振り返りを行っていきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の支援記録を具体的に記載しています。月1回ケース会議で支援の振り返りを行い、支援の検証、改善を継続的に行っています。		各記録に不備などないように日々確認を行うと共に今後も正確な記録と振り返りを行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎月モニタリングを実施しています。		引き続き毎月モニタリングを行っていきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議は計画相談事業所担当者と出来る限り予定を調整し積極的に参加しています。	今後も「最もふさわしい者」となる様、又ふさわしい者という視点に着目し連携を図っていきたく思います。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療と保育、教育の関係機関と連絡を取り、連携した支援を実施に取り組んでいます。	今後も密に連絡を取り合うと共に、保健・障害福祉での連携も取り入れていきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	退院後のカンファレンスに積極的に参加させて頂いています。	今後も利用者様の主治医との連絡体制を継続いたします。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当なし	今後小学校や特別支援学校とも情報共有していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当なし	今後障害福祉サービス事業所との情報提供を整備いたします。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターと支援内容の共有や研修の受講の促進を行っています。	発達障害者支援センターとも連携をしていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	ご希望の利用者様に対しては、保育園との交流を行い、障がいのない子どもと活動する時間の提供をしています。	はい8名 どちらともいえない1名 いいえ1名 わからない2名

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施しておりません。		事業所の行事を地域で行えるように検討していきます。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	アセスメントを含め看護師、児童発達管理責任者・管理者でご説明させていただいています。	はい10名 どちらともいえない2名 いいえ0名 わからない0名	放課後デイサービスでの支援の内容を具体化していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	児童発達支援管理責任者により計画書を提示しながら丁寧に説明させていただいています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後も丁寧な説明を行い、利用者様、保護者様に安心して利用して頂けるよう努めます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	毎月第2土曜日に茶話会を開催し、保護者様が相談しやすい環境作りに取り組んでいます。	はい7名 どちらともいえない2名 いいえ0名 わからない3名	茶話会の開催のお知らせを作成する、内容の周知など、ご家族が相談しやすい環境づくりに取り組みます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートでのお知らせ、送迎時の報告、意見交換を行い、共通理解を図れるようにしています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	引き続き、連絡ノート・送迎時の保護者様へのこまめな連絡で情報を共有し、共有理解を徹底いたします。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	家庭訪問等で伺った相談に対し、必要なアドバイスをお伝えし適切に対応しています。	はい10名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない1名	家庭訪問など引き続き行い、保護者様と気軽に相談できる信頼関係の構築に努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	肢体不自由父母の会とは連絡やイベントの参加をしていますが、感染症の懸念があり、保護者会の開催については現在は実施しておりません。	はい4名 どちらともいえない4名 いいえ1名 わからない3名	対面以外でも必要に応じて保護者会の開催を検討いたします。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルを常備し、適切に迅速に対応出来る様にしています。また第3者委員も選任しています。	はい9名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない2名	苦情についての相談窓口の再周知を図り、苦情があった場合には迅速で保護者様に納得していただけるような適切な対応に努めます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々の状況に応じて、連絡ノートや送迎時に積極的に情報共有を行っています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後も一人一人の状況に合わせ連絡を取り合いながら共有していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のお便り、ホームページによる情報発信を行っています。	はい11名 どちらともいえない1名 いいえ0名 わからない0名	今後も毎月発行のお便り・ホームページ等を通して情報を発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の扱いについて同意書を保護者様に頂いた上で、個人書類の保管や守秘義務の徹底を行っています。	はい11名 どちらともいえない0名 いいえ0名 わからない1名	今後も継続していくと共に、個人情報の扱いに関する内容をしおりに掲載いたします。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し職員への周知を行っておりますが、保護者様に周知はされていません。	はい6名 どちらともいえない2名 いいえ1名 わからない3名	緊急時対応、防犯、感染症各マニュアルを職員への周知徹底を継続していくと共にマニュアルに関する内容をご家族様に周知して参ります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1度、地震や火災を想定した避難訓練を行っています。	はい9名 どちらともいえない0名 いいえ0名 わからない3名	継続して避難訓練を定期的に行い、今後はお便りに避難訓練実施日を記載することで保護者様への報告・伝達も行い、避難ルートなども周知できるよう対応いたします。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会が主体となり、虐待防止研修を定期開催しています。毎月、全職員が虐待防止シートを記入し、委員会で集計、報告を行っています。		今後も積極的に内部・外部研修を含め参加していき、引き続きお子様や保護者様の人権を尊重すると共に虐待防止に努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在対象となる利用者様はおりませんが、身体拘束の同意書、マニュアルを策定し、記録を常備しています。		今後も十分に丁寧に説明させて頂き対応いたします。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者様から聞き取りを行い、医師の指示書を提出していただいています。それを基に、注意事項や安全環境の徹底を行っています。		今後も保護者様を通じて医療機関の指示を頂き、安全に生活できるよう適切に対応していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事業所内での共有の徹底は行っておりますが、事例集の作成は出来ていません。		今後も法人内での事例を通して情報共有の徹底をしていきます。